

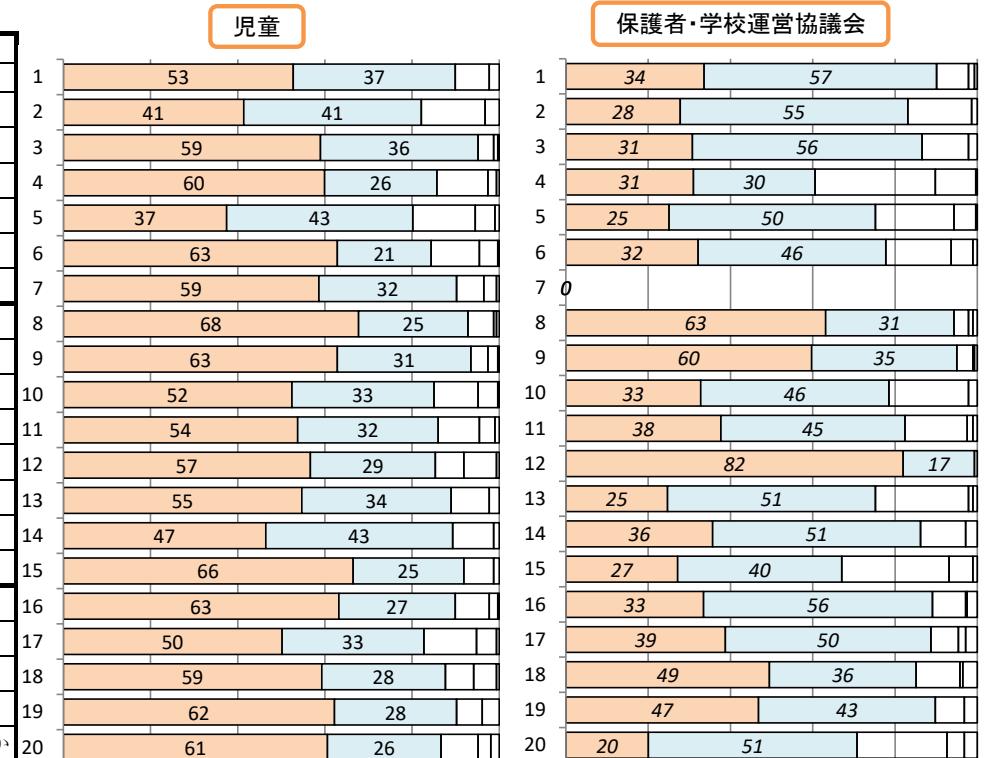
令和4年度学校評価(後期)結果について

平素より本校の教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。学校評価にたくさんの方からご回答をいただき、ありがとうございます。アンケートの結果とともに分析結果についてご報告します。
自由記述欄に書いていただいたことについては、真摯に受け止めさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年 3月
新林小学校 校長 水田 真吾

C	
---	--

質問項目	
①	学校の勉強はわかりますか
②	自分の意見や考えを話すことができていますか
③	人の意見や考えをしっかりきくことができていますか
④	進んで本を読むことができていますか
⑤	毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
⑥	毎日、家庭学習をすることができていますか
⑦	授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
⑧	学校に楽しくかようことができていますか
⑨	学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
⑩	地域の人、先生たち、友だちに進んで気持ちのよいあいさつができていますか
⑪	早寝・早起きをしたり、朝ごはんをきちんと食べたりしていますか
⑫	自分にはよいところがあると思いますか
⑬	むずかしいことでもしつぱいをおそれないでちょうどせんしていますか
⑭	学校のきまりややくそくを守ることができますか
⑮	自分から進んでそうじや係活動(委員会活動)ができますか
⑯	学校からのおたよりをお家の人に見せていますか
⑰	わからないことや困っていることを先生に相談することができますか
⑱	お家の人に学校でのできごとを話していますか
⑲	おうちの人やちいきの人からほめられることがありますか
⑳	ちいきの人との交流やゲストティーチャーとの交流、PTAぎょうじを楽しみにしていますか



「確かな学力」(アンケート番号①～⑦)

「豊かな心・健やかな体」(アンケート番号⑧～⑯)

「学校・家庭・地域との連携」(アンケート番号⑰～㉚)

児童	大人								
①	53	34	37	57	8	8	2	1	0
②	41	28	41	55	15	15	3	1	0
③	59	31	36	56	4	11	1	2	0
④	60	31	26	30	12	29	2	10	1
⑤	37	25	43	50	14	19	5	5	0
⑥	63	32	21	46	11	16	4	5	0
⑦	59		32		6		3		1
⑧	68	63	25	31	6	4	1	1	1
⑨	63	60	31	35	4	4	2	0	0
⑩	52	33	33	46	10	19	5	2	0
⑪	54	38	32	45	9	15	4	1	1
⑫	57	82	29	17	7	0	7	0	1
⑬	55	25	34	51	9	23	2	1	0
⑭	47	36	43	51	9	11	1	3	0
⑮	66	27	25	40	7	26	1	6	0
⑯	63	33	27	56	8	8	2	0	0
⑰	50	39	33	50	12	7	5	2	1
⑱	59	49	28	36	7	11	5	1	1
⑲	62	47	28	43	6	7	4	0	0
⑳	61	20	26	51	8	22	3	4	2

※四捨五入のため、合計が100%にならない項目があります。

今回のアンケート結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

☆アンケート①の「学校の勉強はわかるか」で90%の児童が「わかる・大体わかる」と答えています。タブレットでの漢字・計算の練習などを積み重ねながら、学んだことが定着するようにしていきます。また、アンケート④の「進んで本を読むか」で86%が読むと答えています。この1年間に100冊以上読んだ児童は、89.5%となり、前年度の83.8%からさらに伸びました。PTAから子どもたちの読書意欲が高まる本を購入していただき、図書館が充実してきた効果もあると考えます。

② 話す・聞く力の向上

☆アンケート③の聞くことは、前回よりも6ポイント高くなり95%の児童が「できる・大体できる」と答えています。また、保護者もアンケートも6ポイント高くなり、87%となりました。聞く力の伸びは、学習だけでなく人を大切にすることにもつながり、大変うれしく思います。

③ 家庭学習の習慣化

☆アンケート⑥の「毎日、家庭学習をすることができているか」の項目で、「できる・大体できる」が児童の84%で、2ポイント下がりました。しかし、保護者アンケートを見ると、78%と4ポイント上がりました。

今回のアンケート結果や、1月の実施したさわやか週間の結果から、以下のことについて取り組んでいきたいと思います。

① 自己肯定感の育成

☆アンケート⑫の「自分にはよいところがあると思うか」の項目は、「そう思う・大体そう思う」と答えた児童は86%で1ポイント上がりました。児童の個性を認めていき、引き続き児童自身が自分の好きなことやよいところを自覚し、自信がもてるような取組を進めています。

② 自己効力感の育成

☆アンケート⑬の「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦しているか」の項目は、前回と同じで児童の89%が「挑戦している・大体挑戦している」と答えています。引き続き挑戦する素晴らしさや失敗から学ぶことなど「明るく生きるコツ」を伝えて、児童の意欲や行動を支えていきたいと思います。

③ 楽しい学校

☆アンケート⑧の「学校に楽しく通うことができているか」の項目は、前回よりも4ポイント上がり児童の93%が「そう思う・大体そう思う」と答えています。良い傾向が続いているので、引き続き学校が安心・安全な場で、周りの人から認められる場になるようにしていきます。

④ 基本的生活習慣の確立

☆アンケート⑪の項目を見ると、前回よりも2ポイント下がり86%の児童は早寝・早起き・朝ご飯ができると答えています。朝食をとることで脳へ刺激が伝わり、学習効率も高まるそうなので、学校でも声をかけていきます。

日頃から様々な取組に対し、地域やPTAの方々にご協力いただきありがとうございます。

① 家庭・地域と連携

☆アンケート⑯「お家の人は地域の人からほめられることがあるか」では、「そう思う・大体そう思う」と答えた児童が90%でした。保護者アンケートを見ると、前回よりも3ポイント上がり、90%の保護者が家庭で褒めていると答えています。児童の自己肯定感が高まってきた背景には、保護者の